

8.4 景観

8.4.1 調査事項

調査事項は、表 8.4-1 に示すとおりである。

表8.4-1 調査事項（東京2020大会の開催後）

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度 ・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度 ・ 緑視率の変化の程度
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画建築物の状況(配置、形状、高さ等) ・ 緑化計画
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の第一球技場及びその周辺を含む第一球技場計画地内にメインピッチを配置し、既存の第二球技場敷地の第二球技場計画地内に、サブピッチを配置する。 ・ メインピッチのメインスタンドの最高高さを約22mとする。 ・ メインスタンドの色彩は東京都景観計画及び品川区景観計画に準じた色彩計画とし、臨海部景観基本軸である、落ち着きと潤いのある景観を形成するため、低彩度を基本とした、公園の風景に溶け込む落ち着いた色彩とする。

8.4.2 調査地域

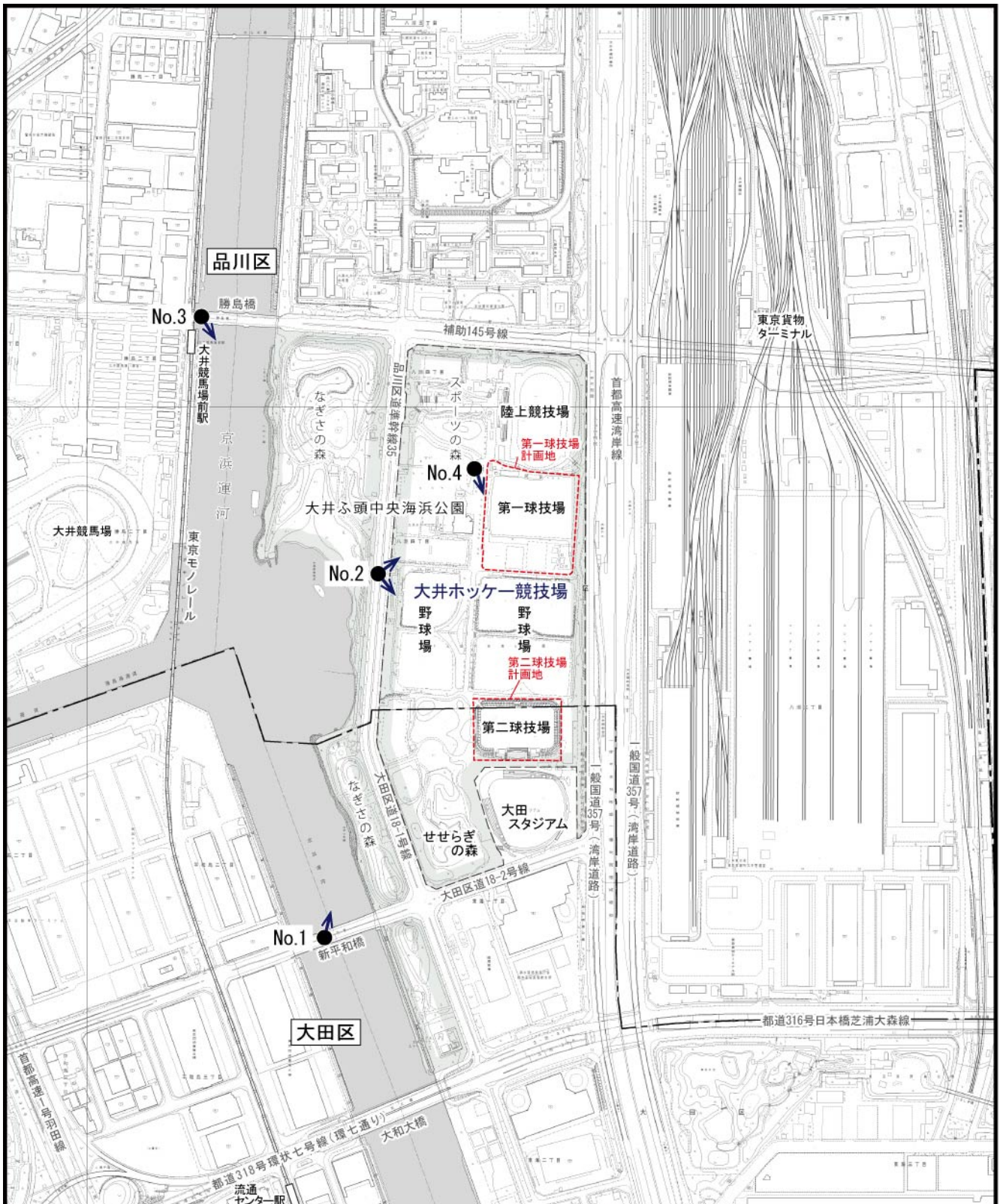
調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.4.3 調査手法

調査手法は、表 8.4-2 に示すとおりである。

表8.4-2 調査手法

調査事項		主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度	代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度	緑視率の変化の程度
調査時点		東京 2020 大会開催後とした。		
調査期間	予測した事項	東京 2020 大会開催後とした。		
	予測条件の状況	東京 2020 大会開催後とした。		
	ミティゲーションの実施状況	東京 2020 大会開催後とした。		
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。	予測地点と同様の4地点(図 8.4-1 に示す地点 No. 1～4)とした。	
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。		
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。		
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影)及び評価書の予測結果と比較する方法とした。		
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影)及び関連資料の整理による方法とした。		
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影)及び関連資料の整理による方法とした。		



凡例

- 計画地
- 大井ふ頭中央海浜公園
スポーツの森
- 区界
- モノレール
- 景観(眺望景観)調査地点(No.1~4)
- 写真撮影方向



Scale 1:10,000



図 8.4-1 景観調査地点
(代表的な眺望点及び眺望の状況)

8.4.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項

ア. 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度

計画地は、大井ふ頭中央海浜公園内に位置し、土地利用はその多くが公園・運動場等となっていた。

事業の実施に伴い、第一球技場計画地内では、景観の構成要素である樹木の一部が伐採され、球技場のフィールド、メインスタンド等に変化した。

第二球技場では既設スタンドの改修等が行われたが、既設施設の改修のみを行ったため、景観の構成要素の改変はなかった。

イ. 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度

代表的な眺望地点からの、眺望のフォローアップ調査結果は、写真 8.4-1～4 に示すとおりである。

代表的な眺望地点のうち、No. 1～3 地点においては、計画建築物は既設の植栽により視認できない。No.4 地点においては、フォローアップ調査時は、大会後の工事中であり、予測地点と同一地点で撮影が実施できなかったため、予測地点付近における撮影写真を用いた。計画建築物が視認できるが、計画建築物は、高さを約 22m としたことから、計画地周辺の植栽と調和した景観が形成されている。

<p>予測結果</p>	 <p>..... 第一球技場 第二球技場</p>
<p>フォローアップ調査結果</p>	
<p>予測結果 : 計画建築物は、大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森の植栽によって視認できない。</p> <p>フォローアップ調査結果 : 計画建築物は、大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森の植栽によって視認できない。</p>	

写真8.4-1 眺望の状況 (No.1: 新平和橋)

予測結果



..... 第一球技場

フォローアップ調査結果



予測結果 : 第一球技場の計画建築物は、大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森の植栽によって視認できない。

フォローアップ調査結果 : 第一球技場の計画建築物は、大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森の植栽によって視認できない。



写真8.4-2(1) 眺望の状況 (No.2 : 夕やけ橋1)

予測結果



..... 第二球技場

フォローアップ調査結果



予測結果 : 第二球技場の計画建築物は、大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森の植栽によって視認できない。

フォローアップ調査結果 : 第二球技場の計画建築物は、大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森の植栽によって視認できない。

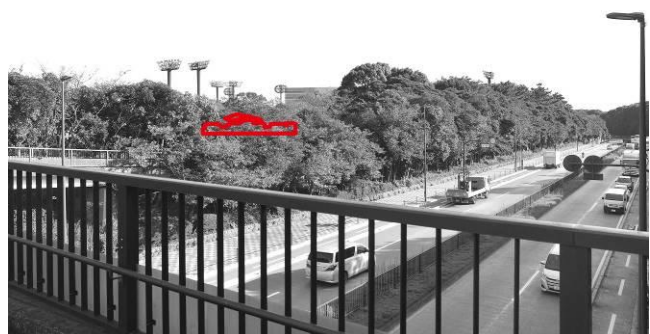


写真8.4-2(2) 眺望の状況 (No.2 : 夕やけ橋2)

<p>予測結果</p>	 <p>..... 第一球技場 第二球技場</p>
<p>フォローアップ調査結果</p>	
<p>予測結果 : 計画建築物は、大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森の植栽によって視認できない。</p> <p>フォローアップ調査結果 : 計画建築物は、大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森の植栽によって視認できない。</p>	

写真8. 4-3 眺望の状況 (No.3 : 勝島橋)


<p>予測結果</p>	
<p>フォローアップ調査結果</p>	
<p>予測結果 : 正面に計画建築物であるメインスタンドが視認できる。現況よりも建築物の占める割合は増加する。</p> <p>フォローアップ調査結果 : 予測のとおり、正面に計画建築物であるメインスタンドが視認できる。</p>	

写真 8.4-4 眺望の状況 (No.4 : 大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森)

ウ. 緑視率の変化の程度

代表的な眺望地点からの、予測結果とフォローアップ調査結果の緑視率の変化の程度は、表 8.4-3 及び写真 8.4-5 に示すとおりである。

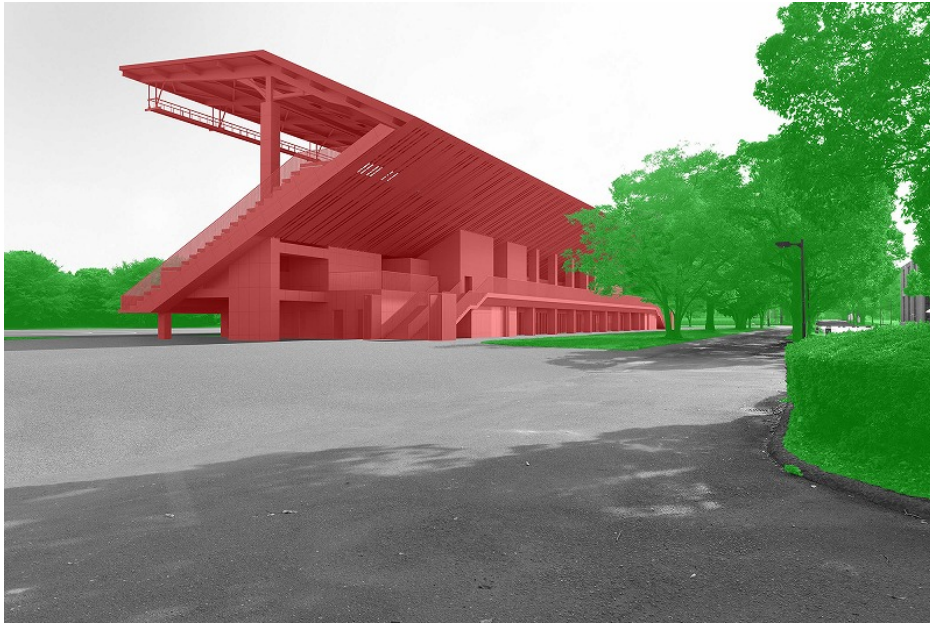
緑視率の変化の程度は、No.4 地点では事前調査と比較して約 19.0 ポイントの減少、予測結果と比較して約 7.1 ポイントの増加であった。

表 8.4-3 緑視率の変化の程度

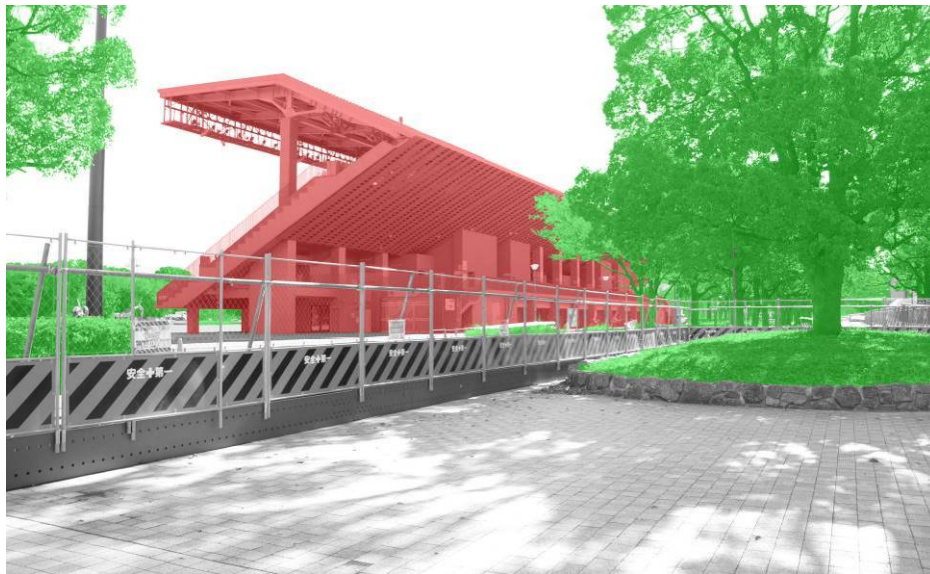
調査地点	事前調査	予測結果		フォローアップ調査結果	
		緑視率	変化量	緑視率	変化量
No.4	約 45.2%	約 19.1%	約 26.1 ポイント減	約 26.2%	約 19.0 ポイント減

注) 地点番号は、図 8.4-1 (p.60 参照) に対応する。

予測結果



フォローアップ調査結果



予測結果

正面に計画建築物であるメインスタンドが視認できる。事前調査よりも建築物の占める割合は増加し、緑視率は減少する。

フォローアップ調査結果

フォローアップ調査時は、大会後の工事中であり、予測地点と同一地点で撮影が実施できなかったため、予測地点付近における撮影写真を用いた。計画建築物のメインスタンドがほぼ予測とおりの位置に視認できる。緑視率は、事前調査と比較して約19.0ポイント減少、予測結果と比較して約7.1ポイント増加する。予測地点よりも引いた地点での撮影写真のため、予測結果よりも周辺の緑が視認され、緑視率が増加したものと考えられる。

写真8.4-5 緑視率の変化の程度 (No.4 : 大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森)

2) 予測条件の状況

ア. 計画建築物の状況（配置、形状、高さ等）

計画建築物の状況（配置、形状、高さ等）は、「4. 大井ホッケー競技場の計画の目的及び内容 4.2 内容 4.2.3 事業の基本計画」（p.8 参照）に示したとおりである。

イ. 緑化計画

緑化計画は、「4. 大井ホッケー競技場の計画の目的及び内容 4.2 内容 4.2.3 事業の基本計画（7）緑化計画」（p.13 参照）に示したとおりである。

3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.4-4(1)及び(2)に示すとおりである。なお、景観に関する問合せはなかった。

表8.4-4(1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	・既存の第一球技場及びその周辺を含む第一球技場計画地内にメインピッチを配置し、既存の第二球技場敷地の第二球技場計画地内に、サブピッチを配置する。
実施状況	既存施設が位置する敷地内での整備や改修であり、また、新築建物メインスタンドの高さは周辺の植栽を通して歩行者視線に配慮したことにより、周辺のスポーツ施設や植栽と調和した景観を形成した。
	
メインスタンドからの景観	メインスタンドからの景観
	
植栽を通した歩行者から見たメインスタンド	サブピッチ

表8.4-4(2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	・メインピッチのメインスタンドの最高高さを約22mとする。
実施状況	
<p>メインスタンドの高さを約 22m とすることにより、大井ふ頭中央公園内の樹木越しにメインスタンドを視認できる範囲を軽減し、計画地内外からの既存の景観の維持に努めた。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>樹木越しのメインスタンド（西側から）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>樹木越しのメインスタンド（西側から）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>樹木越しのメインスタンド（西側から）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>樹木越しのメインスタンド（南側から）</p> </div> </div>	
ミティゲーション	・メインスタンドの色彩は東京都景観計画及び品川区景観計画に準じた色彩計画とし、臨海部景観基本軸である、落ち着きと潤いのある景観を形成するため、低彩度を基本とした、公園の風景に溶け込む落ち着いた色彩とする。
実施状況	
<p>大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森において、落ち着きと潤いのある景観を形成するため、メインスタンドは、低彩度を基本とした、公園の風景に溶け込む落ち着いた色彩とすることにより、既存の景観の維持に努めた。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>メインスタンド</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>風景に溶け込む色彩</p> </div> </div>	

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度

計画地は、大井ふ頭中央海浜公園内に位置し、土地利用はその多くが公園・運動場等となっていた。

事業実施に伴い、第一球技場では既存樹木の一部が伐採され、フィールド、メインスタンドなどの人工物が出現したが、メインスタンドの高さを約 22m とすることにより、大井ふ頭中央公園内の樹木越しにメインスタンドを視認できる範囲を軽減し、計画地内外からの既存の景観の維持に努めた。第二球技場では既設スタンドの改修、フィールド整備が行われた。第一球技場、第二球技場ともに既存施設が位置する敷地内での整備や改修であり、予測結果と同様に現況の主要な景観構成要素及び地域景観の特性を大きく変化させるものではないと考える。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致する。

イ. 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度

フォローアップ調査における代表的な眺望地点からの眺望の変化は、公園内の眺望地点からはメインスタンドが視認できるが、メインスタンドは、公園の風景に溶け込む落ち着いた色彩であり、周辺の植栽とも調和しており、予測結果と概ね同様であった。

よって、予測結果と同様に、大井ふ頭中央海浜公園の、海辺に親しむ緑の拠点としての眺望景観は維持されるものと考ええる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致する。

ウ. 緑視率の変化の程度

フォローアップ調査時は、大会後の工事中であり、予測地点と同一地点で撮影が実施できなかったため、予測地点付近における撮影写真を用いた。計画建築物のメインスタンドがほぼ予測とおりの位置に視認できる。緑視率は、事前調査と比較して約 19.0 ポイント減少、予測結果と比較して約 7.1 ポイント増加する。予測地点よりも引いた地点での撮影写真のため、予測結果よりも周辺の緑が視認され、緑視率が増加したものと考ええる。